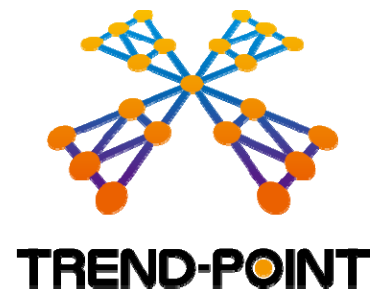


福井コンピュータホールディングス株式会社

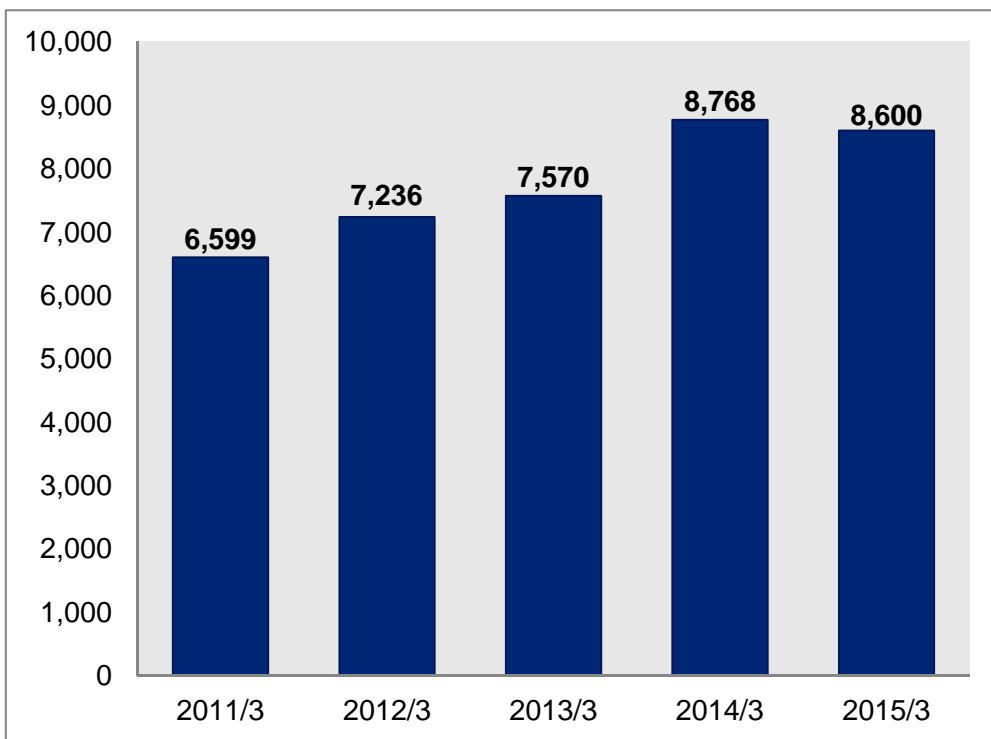
2015年3月期 決算説明資料





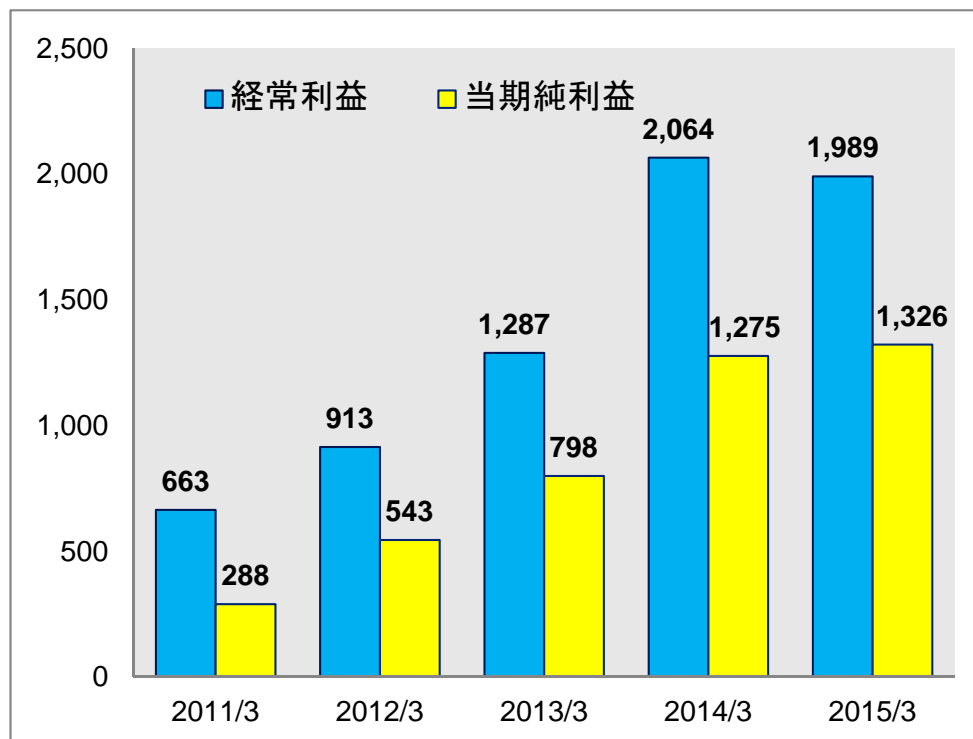
売上高

(単位: 百万円)



経常利益 / 純利益

(単位: 百万円)



- 売上高は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動と、Windows XPのサポート終了による更新需要の一巡により減収となるが、当初計画は上回って着地
- 当期純利益は過去最高益を更新
- 2014年9月30日を基準日として、1株⇒2株の株式分割を実施
- 1株当たり配当額を12.5円⇒15円に修正(増配)

連結業績の概要



(単位:百万円)

	前期	当期 (実績)	対前期 増減額	対前期 増減率	当期 (計画)
売上高	8,768	8,600	△167	△1.9%	8,300
営業費用	6,747	6,664	△82	△1.2%	6,530
営業利益	2,020	1,936	△84	△4.2%	1,770
営業外損益	43	53	+9	+22.8%	30
経常利益	2,064	1,989	△74	△3.6%	1,800
特別損益	△12	12	+25	—%	—
法人税等	776	675	△101	△13.1%	650
当期純利益	1,275	1,326	+51	+4.0%	1,150

- 売上高、営業利益及び経常利益は、消費税増税、XPサポート終了による特需の反動により、減収減益となったが、当初計画は上回って着地
- 当期純利益は、復興法人税の廃止などにより法人税等が減少し、過去最高益を更新
- 特別損益は、投資信託の売却益を計上

営業費用の内訳



(単位:百万円)

	前期	当期	対前期 増減額	対前期 増減率
人件費	4,180	4,232	+51	+1.2%
賃借料	384	369	△14	△3.8%
商品売上原価	314	329	+15	+4.8%
旅費交通費	321	318	△3	△1.1%
減価償却費	280	183	△96	△34.6%
ロイヤリティ	154	144	△9	△6.3%
外注費	182	137	△44	△24.2%
その他費用	929	948	+19	+2.1%
合計	6,747	6,664	△82	△1.2%

- 人件費はサポート体制を充実するため、人員を増加した影響により増加
- 減価償却費は新製品の開発が多くなった影響により、販売目的ソフトウェアの償却費が減少
- 外注費は外注を抑制した結果、減少

セグメント情報



(単位:百万円)

	建築CAD	測量土木CAD	調整額	合計
売上高	4,751	3,849	—	8,600
営業利益	933	900	102	1,936

(参考:前期)

(単位:百万円)

	建築CAD	測量土木CAD	調整額	合計
売上高	4,702	4,066	—	8,768
営業利益	899	981	138	2,020

- 2014年4月1日にITソリューション事業の各事業を建築CAD事業の各会社に事業譲渡したため、報告セグメントを従来の3区分から2区分に変更
- 建築CAD事業は、LIXILグループへの受託システムの売上増加及び出口調査システムの売上増加により増収増益
- 測量土木CAD事業は、消費税増税、XPサポート終了による特需の反動が大きく減収減益

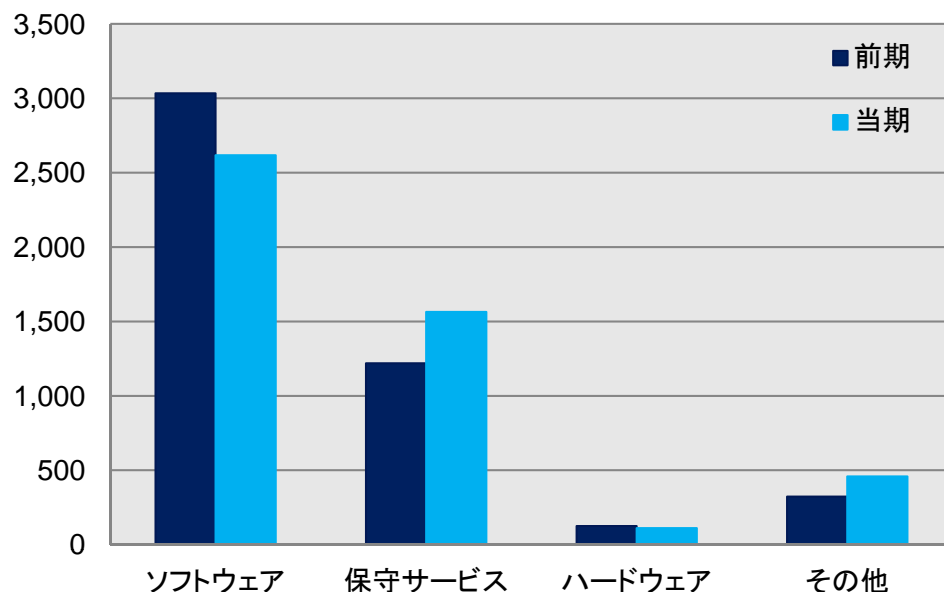


(単位:百万円)

	前期	当期	増減額	増減率
売上高	4,702	4,751	+49	+1.1%
営業利益	899	933	+33	+3.7%

(単位:百万円)

売上高内訳



➤消費増税の影響で新設住宅着工戸数が前年比でマイナスとなり、市場が冷え込んだ影響により、ソフトウェアの売上が減少

➤2015年1月に発売した新システム「ARCHITREND ZERO」への移行サービスを包含した保守契約が大幅に伸びたことにより、保守サービス売上が増加

➤LIXILグループへの受託システムの売上が増加

➤衆議院選挙により報道機関向け出口調査システムの売上が増加

測量土木CAD事業

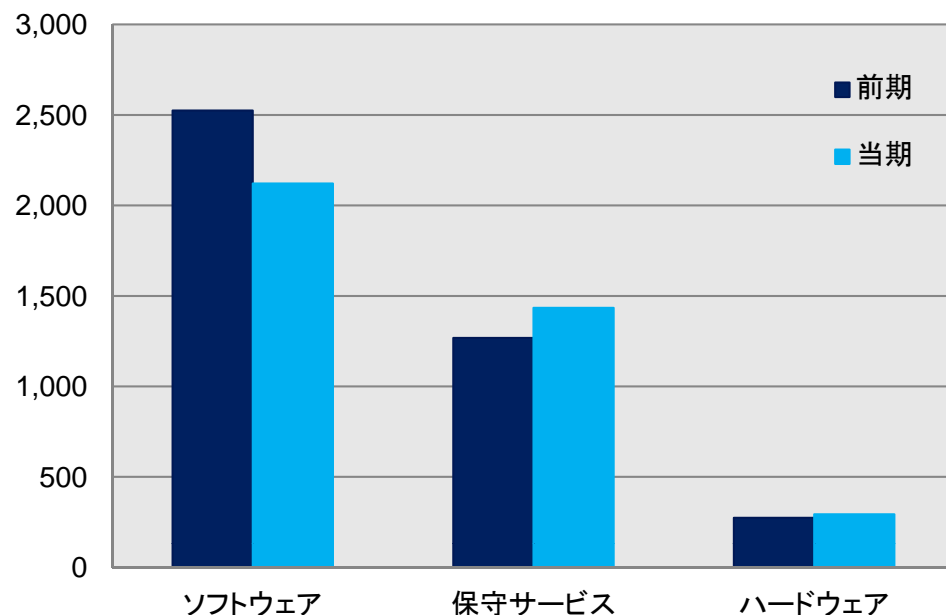


(単位:百万円)

	前期	当期	増減額	増減率
売上高	4,066	3,849	△217	△5.3%
営業利益	981	900	△81	△8.3%

(単位:百万円)

売上高内訳



▶ソフトウェアは、消費税増税、XPサポート終了による特需の反動が大きく減収

▶保守サービスは、測量・土木ともに保守の加入件数が増加し、保守サービス売上は増加

▶現場端末システム「X-FIELD」、3D点群処理システム「TREND-POINT」、CIMコミュニケーションシステム「TREND-CORE」を開発し、販売開始

貸借対照表の概要



(単位:百万円)

	前期末	当期末	増減額
現金及び預金	4,452	6,088	+1,635
受取手形及び売掛金	2,058	1,700	△357
その他流動資産	509	633	+124
有形固定資産	2,794	2,695	△99
無形固定資産	73	26	△47
投資その他の資産	1,838	2,067	+228
資産合計	11,727	13,211	+1,483
前受金	1,399	1,737	+337
未払費用	623	613	△10
その他流動負債	1,240	1,101	△139
固定負債	220	280	+59
資本金、資本剰余金	3,727	3,727	—
利益剰余金	4,062	5,102	+1,039
有価証券評価差額金その他	452	648	+196
負債純資産合計	11,727	13,211	+1,483
自己資本比率	70.3%	71.7%	

キャッシュ・フローの概要



(単位:百万円)

	前期	当期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,216	1,928	+712
投資活動によるキャッシュ・フロー	437	△6	△443
財務活動によるキャッシュ・フロー	△229	△287	△57
現金及び現金同等物の増減額	1,424	1,635	+210
現金及び現金同等物の期末残高	4,452	6,088	+1,635

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
税引前利益2,001百万円、減価償却費183百万円、法人税等の支払額1,077百万円
前受金の増加337百万円、売上債権の減少355百万円
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
配当金の支払額287百万円

2016年3月期通期業績予想



(単位:百万円)

	当期(実績)	来期(予想)	増減率
売上高	8,600	8,601	+0.0%
営業利益	1,936	1,975	+2.0%
経常利益	1,989	2,005	+0.8%
当期純利益	1,326	1,344	+1.3%
1株当たり当期純利益	57円75銭	58円50銭	
1株当たり配当金	15円	15円	